

国語科の授業の進め方について 〈中学校 第3学年〉

【三省堂】

※説明の中では「中学校第3学年」を「中3」とお示ししています。

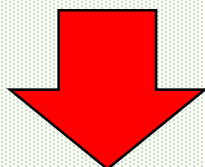
説明の趣旨

- (1) 入学者選抜までに、学習指導要領に示された指導事項を全て指導し終えておく必要があること。
- (2) そのために、2学期以降の指導計画の見直しを図ること。
- (3) 生徒が卒業するまでに、未履修の学習内容がないよう、十分に注意すること。

【2学期以降の学習計画の見直し】

《準備》

- ・1学期に学習した単元において、単元目標にした指導事項を確認する。



1学期に取り上げていない指導事項は、2学期以降、必ず単元目標にして指導する必要があります。

※指導事項の確認には、この後に提示した領域別の表を参考にしてください。
なお、提示した表には、教科書発行会社が設定した内容を記入してあります。

教科書教材と指導事項 一覧（話すこと・聞くこと）

※教科書P6を参照

教科書教材 指導事項		句会をひらこう	ブックトーク	企画会議	ワールド・カフェ	名言集
		話すこと 話題設定や取材・	社会生活の中から話題を決めること。			○
ア	自分の経験や知識を整理して考えをまとめること。	○			○	○
	語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする事。		○	○		
イ	場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。		○		○	
聞くこと	ウ	聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	○	○	○	○
話し合うこと	エ	話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。			○	○

教科書教材と指導事項 一覧（書くこと）

※教科書P7を参照

教科書教材 指導事項			小論文	批評文	漢字一字で表現すると	名言集
課題設定や取材・	ア	社会生活の中から課題を決めること。	○	○		
		取材を繰り返しながら自分の考えを深めること。		○		○
		文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	○		○	○
記述	イ	論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。	○	○		
推敲	ウ	書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。	○	○		○
交流	エ	書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。		○	○	

教科書教材と指導事項 一覧（読むこと）

※教科書P8とP9を参照

教科書教材 指導事項			文学的文章					説明的文章				
			水のようなひと	握手	俳句の世界／俳句十句	花や咲く咲く	初恋	故郷	坊っちゃん	間の文化	フロン規制の物語	新聞記事を読み比べよう 情熱社会を生きる
味語の句理の解意	ア	文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。	○	○	○			○	○	○		
解文章の	イ	文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。		○				○	○			○
成自分の考えの形	ウ	文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。	○	○	○			○	○			○
	エ	文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。		○				○	○			○
報読書と活用と情	オ	目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。				○	○				○	○

【2学期以降の学習計画の見直し】

《見直し案》

- ・ 「『文殊の知恵』の時代」（論説）
- ・ 「中学校生活を振り返って」（名言集）

入試までに余裕をもって上記の単元を実施できない場合、次ページ以降にお示しするように、他の教材を学習するときに配慮が必要です。

※案としてお示しするものであり、必ず実施すべきものではありません。

教科書教材 指導事項		説明的文章			
		フロン規制の物語	情報社会を生きる	「文殊の知恵」の時代	
味語の句理の解意	ア	文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。	○	○	
積文章の解	イ	文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。	○	○	○
自分の考えの形成	ウ	文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。	○	○	
	エ	文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。	○	○	○
読書と情報活用	オ	目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。	○	○	○
授業時数		5	4	3	

〈考え方〉

- 今後の学習で扱う説明的文章の単元目標に注目して、「『文殊の知恵』の時代」で生徒に付けたい力を、他の説明文教材で身に付けさせるための指導計画を立てる。

〈見直し例〉

- ① 「フロン規制の物語」の学習において、単元目標をより丁寧に扱う。
[「イ」文章の解釈]
- ② 「情報社会を生きる」の学習において、単元目標を追加する。
[「エ」自分の考えの形成]

〔C 読むこと〕

〈見直し後の指導例〉①

「フロン規制の物語」

<p>フロン規制の物語 (単元目標)</p> <p>◎文章の展開の仕方や、小見出しのつけ方などについて、その意図や効果を捉える。</p> <p>◎「科学技術の発達」に対する筆者の見方・考え方を捉え、自分の考えを広げる。</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「夢の化学物質」とも呼ばれたフロンの「優れた性質」と「隠れていた性質」について、それぞれ箇条書きで列挙する。</p> <p>2 フロン規制に向けて、どのような意見やできごとがあったか、次の二つに分けて整理する。</p> <ul style="list-style-type: none">・規制を進める方向のもの・規制を抑える方向のもの <p>3 フロンの特徴とフロン規制についてのまとめを基に、「科学技術の発達」に対する筆者の考えについて、意見を交流する。</p> <p>4 最後の段落における筆者の主張に対して、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>5 冒頭の段落において、筆者が「あなた自身も将来、その物語の登場人物に加わるかもしれないのです。」と述べた理由を考える。</p> <p>6 冒頭の段落において「あなた」ということばが用いられていることの効果を考える。</p> <p>7 「夢の化学物質」から「未完の物語」までの五つの小見出しについて、次の点から意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none">・筆者は、小見出しのつけ方にどのような工夫をしているか。・小見出しがあると、読み進めていくときにどのような効果があるか。 <p>◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。</p>	<p>【関】筆者の表現の工夫について、その意図や効果を捉えようとしたり、筆者の見方・考え方を捉えて、自分の考えを広げようとしたりしている。</p> <p>【読】「科学技術の発達」に対する筆者の見方・考え方を捉えている。</p> <p>【読】「科学技術の発達」に対する筆者の見方・考え方を捉え、自分の考えを広げている。</p> <p>【言】慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けについて注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【読】文章の展開の仕方や、小見出しのつけ方などについて、その意図や効果を捉えている。</p>
---	--	---

学習活動の追加

〔C 読むこと〕

〈見直し後の指導例〉②

「情報社会を生きる」

<p>情報社会を生きる 新聞記事を読み比べよう 〈単元目標〉</p> <p>◎文章中における語句の効果的な使い方を捉える。</p> <p>◎文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価する。</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。</p> <p>1 「メディアがもたらす利点と限界」について、筆者が「利点」「限界」を述べている段落を探す。</p> <p>2 本文中で同じような意味で使われていることばを探して書き抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報を形づくる」 ・「事実を選び取る」 ・「情報を送り出す」 	<p>【関】 語句の効果的な使い方を捉えようとしたり、文章構成や表現の仕方について評価しようとしたりしている。</p> <p>【読】 文章中における語句の効果的な使い方を捉えている。</p>
<p>◎文章を読んで、情報社会を生きていく上で大切なことについて考え、自分の意見をもつ。</p>	<p>3 情報社会を生きていく私たちにとって、メディア・リテラシーを身に付けることの意味とは何か、自分の考えをまとめる。</p>	<p>【読】 文章を読んで、情報社会を生きていく上で大切なことについて考え、自分の意見をもっている。</p>
<p>単元目標及び 学習活動の追加</p>	<p>4 文章の構成や表現の仕方に見られる筆者の工夫をあげ、その効果を考える。</p> <p>5 A・Bどちらかの課題を選んで取り組む。</p> <p>A p138-139の「新聞記事」を読み比べる。</p> <p>B これまでに行ったリーフレットづくり、新聞づくり、雑誌づくりなどを振り返り、それらの編集過程において「情報の取捨選択」がどのように行われたかについて話し合う。</p> <p>◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。</p>	<p>【読】 文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価している。</p> <p>【言】 和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>

(三省堂Webページ「学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料」を基に作成)

指導事項		教科書教材	企画会議	ワールド・カフェ	中学校生活を振り返って
話すこと 設定や取材		社会生活の中から話題を決めること。	○	○	
	ア	自分の経験や知識を整理して考えをまとめること。	○	○	○
		語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。	○		
	イ	場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。		○	
聞くこと	ウ	聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	○		○
話し合うこと	エ	話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。	○	○	
授業時数			5	2	3

〈考え方〉

- 今後の学習で扱う教材の単元目標に注目し、「**名言集**」で生徒に付けたい力を、他の教材で身に付けさせるための指導計画を立てる。

〈見直し例〉

「企画会議」の学習において、単元目標を追加する。
〔「ア」話題設定や取材〕

〔A 話すこと・聞くこと〕 〈見直し後の指導例〉 「企画会議」

<p>企画会議 (単元目標) ◎社会生活の中から話題を決め、表現を工夫し、説得力のある発言をする。</p>	<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p>	<p>【関】合意を形成し、課題を解決することを意識して、企画会議に積極的に取り組んでいる。</p>
<p>単元目標及び学習活動の追加</p>		
<p>◎社会生活の中から話題を決め、経験や知識を整理しながら自分の考えをまとめている。</p>	<p>1 対話のための話題を決め、意見を述べるために自分の経験や知識を整理して考えをまとめて記録する。</p>	<p>【話聞】社会生活の中から話題を決め、経験や知識を整理して自分の考えをまとめている。</p>
<p>◎課題の解決に向けて、互いの考えを生かしたり調整したりできるように進行の仕方を工夫して、話し合いを効果的に展開する。</p>	<p>2 二つの対話の場を設定し、それぞれを体験する。 ・対話の場1：グループでアイデアを出し合い、一つの企画案にまとめる。 ・対話の場2：クラスや学年で企画会議を開き、グループの企画案を検討する。</p> <p>3 対話の体験を振り返って話し合う。</p> <p>◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。</p>	<p>【話聞】社会生活の中から話題を決め、表現を工夫し、説得力のある発言をしている。 【話聞】課題の解決に向けて、互いの考えを生かしたり調整したりできるように進行の仕方を工夫して、話し合いを効果的に展開している。 【言】合意形成や課題解決に向けたことばの選択や使い方について考え、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>

(三省堂Webページ「学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料」を基に作成)

[B 書くこと]

教科書教材 指導事項		批評文	漢字一字で表現すると	中学校生活を振り返って	
課題設定や取材・	社会生活の中から課題を決めること。	○			
	取材を繰り返しながら自分の考えを深めること。	○		○	
	文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。		○	○	
記述	イ	論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。	○		
推敲	ウ	書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。	○	○	○
交流	エ	書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深めること。	○	○	
授業時数		6	3	4	

〈考え方〉

- 今後の学習で扱う教材の単元目標に注目し、「**名言集**」で生徒に付けたい力を、他の教材で身に付けさせるための指導計画を立てる。

〈見直し例〉

- ① 「批評文」の学習において、単元目標をより丁寧に扱う。
[「ア」課題設定・取材]
- ② 「漢字一字で表現すると」の学習において、単元目標を追加する。
[「ウ」推敲]

〔B 書くこと〕 〈見直し後の指導例〉① 「批評文」

<p>批評文 (単元目標)</p> <p>◎課題について、論理展開が明解な文章構成を工夫して書く。</p> <p>◎取材や分析をとおして課題に対する自分の立場や考えを定める。</p> <p>◎書いた文章を互いに評価し合うことによって、表現をよりよいものに高め、もの見方や考え方を深める。</p>	<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 学校や社会のできごとから対象を選び、課題を設定する。</p> <p>2 対象を観察し、分析する。 →p260資「インタビューをする」 →p261資「アンケートをとる」</p> <p>3 判断と評価を行い、下書きをする。</p> <p>4 下書きを読み、判断や評価の根拠を補強して、より説得力を高めるための改善点を探す。 自分の立場を決めた上で、統計・調査結果や専門家の意見を基に自分の考えをまとめる。</p> <p>5 批評文を書く。</p> <p>6 批評文を読み合い、根拠・論理展開・分析の観点や方法について交流する。</p> <p>◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。</p>	<p>【関】 観察や分析をとおして行った判断をもとに、説得力のある批評文を書こうとしている。</p> <p>【書】 論理展開が明解な文章構成を工夫して書いている。</p> <p>【書】 取材や分析をとおして課題に対する自分の立場や考えを定めている。</p> <p style="text-align: center;">学習活動の追加</p> <p>【書】 書いた文章を互いに評価し合うことによって、表現をよりよいものに高め、もの見方や考え方を深めている。</p> <p>【言】 分析・判断・評価をとおして、ことばの選択や使い分けなどについて考え、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>
---	--	--

(三省堂Webページ「学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料」を基に作成)

〔B 書くこと〕

〈見直し後の指導例〉②

「漢字一字で表現すると」

<p>漢字一字で表現すると</p> <p>〈単元目標〉</p> <p>◎「自分の漢字」について、適切な構成を工夫して文章を書く。</p>	<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 漢字辞典や国語辞典を活用して、自分を表す漢字を探す。</p> <p>2 グループで「自分の漢字」を紹介し合う。</p> <p>3 「自分の漢字」を決め、選んだ理由や、その漢字にまつわるエピソードを文章にまとめる。</p>	<p>【関】 自分を表す漢字を探して互いに紹介し合うことを楽しみながら、漢字にまつわるエピソードを書こうとしている。</p>
<p>◎書いた文章を読み返し、文章全体を整える。</p>	<p>4 「自分の漢字」について書いた文章を読み返し、推敲した上で清書する。</p> <p style="text-align: center;">単元目標及び学習活動の追加</p>	<p>【書】 書いた文章を読み返し、文章全体を整えている。</p>
<p>◎書かれたものに表れたそれぞれの個性を味わいながら、ものの見方や考え方を深める。</p>	<p>5 書いた文章をもとにスピーチをしたり、未来の自分に向けたメッセージカードを作ったりして交流する。</p> <p>◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。</p>	<p>【書】 書かれたものに表れたそれぞれの個性を味わいながら、ものの見方や考え方を深めている。</p> <p>【言】 漢字に関する知識やイメージを広げ、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>

(三省堂Webページ「学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料」を基に作成)